



GLOSSARY

A

- ABR** 「エリア境界ルータ」を参照してください。
- ARP** Address Resolution Protocol (アドレス解決プロトコル)。ARP は既知の IPv4 アドレスに対応する MAC アドレスを検出します。
- AS** 「自律システム」を参照してください。
- ASBR** 「自律システム境界ルータ」を参照してください。
- AVF** Active Virtual Forwarder (アクティブ仮想フォワーダ)。特定の仮想 MAC アドレスにトラフィックを転送するために選定された、**GLBP** グループ内のゲートウェイ。
- AVG** Active Virtual Gateway (アクティブ仮想ゲートウェイ)。アクティブ仮想ゲートウェイとして選択され、プロトコルの動作を担当する、**GLBP** グループ内の 1 つの仮想ゲートウェイ。

B

- BDR** Backup Designated Router (バックアップ代表ルータ)。マルチアクセス OSPF ネットワークにおいて、代表ルータで障害が発生した場合に、バックアップとして動作するように選定されたルータ。すべてのネイバーは、代表ルータと同様、バックアップ代表ルータ (BDR) とも隣接関係を形成します。
- BGP** Border Gateway Protocol (ボーダー ゲートウェイ プロトコル)。BGP はドメイン間またはエクステリア ゲートウェイ プロトコルです。
- BGP スピーカ** BGP 対応ルータ。
- BGP ピア** ローカル BGP スピーカとネイバー関係が確立されている、リモート BGP スピーカ。

D

- DHCP** Dynamic Host Control Protocol (動的ホスト制御プロトコル)。
- Diffusing アップ
デート アルゴリズム** 「DUAL」を参照してください。
- DNS クライアント** Domain Name System (ドメイン ネーム システム) クライアント。DNS サーバと通信し、ホスト名を IP アドレスに変換します。

DR	Designated Router (代表ルータ)。マルチアクセス OSPF ネットワークにおいて、すべての隣接ネイバーに代わって LSA を送信するように選定されたルータ。すべてのネイバーは、代表ルータおよびバックアップ代表ルータとだけ隣接関係を確立します。
DUAL	Diffusing Update Algorithm (Diffusing アップデート アルゴリズム)。宛先への最適ルートを選択するための EIGRP アルゴリズム。
<hr/>	
E	
eBGP	外部 BGP (ボーダー ゲートウェイ プロトコル)。外部システム間で動作します。
EIGRP	Enhanced IGRP。Diffusing アップデート アルゴリズムを使用して高速コンバージェンスを実現し、帯域幅の使用率を最小限に抑える、シスコのルーティング プロトコルです。
<hr/>	
F	
FIB	Forwarding Information Base (転送情報ベース)。パケットごとにレイヤ 3 フォワーディングを決定するために使用される、各モジュール上のフォワーディング テーブル。
<hr/>	
G	
GLBP	Gateway Load Balancing Protocol (ゲートウェイ ロード バランシング プロトコル)。エンド ホストにハイ アベイラビリティ機能を提供する、シスコ独自のプロトコル。
<hr/>	
H	
hello 間隔	OSPF または EIGRP ルータが hello パケットを送信する、設定可能な間隔。
hello パケット	OSPF または IS-IS がネイバー検出のために使用する、特殊なメッセージ。確立されたネイバー間のキープ アライブ メッセージとしても機能します。
High Availability (ハイ アベイラビリティ)	コンポーネントで障害が発生したときに、システムまたはコンポーネントがネットワークの停止を制限または回避する能力。
HSRP	Hot Standby Router Protocol (ホットスタンバイ ルータ プロトコル)。
<hr/>	
I	
iBGP	内部 BGP (ボーダー ゲートウェイ プロトコル)。自律システム内で動作します。
ICMP	
IETF RFC	インターネット技術特別調査委員会コメント要求。

IGP	Interior Gateway Protocol (インテリア ゲートウェイ プロトコル)。同じ自律システム内のルータ間で使用されます。
instance	独立した設定可能なエンティティ。通常はプロトコル。
IP トンネル	
IPv4	インターネット プロトコル バージョン 4。
IPv6	インターネット プロトコル バージョン 6。
IS-IS	Intermediate System to Intermediate System。ISO インテリア ゲートウェイ プロトコル。

K

Keepalive (キーブ アライブ)	ルーティング ペア間の通信を確認して維持するために、ピア間で送信される特殊なメッセージ。
---------------------------------	--

L

LSA	Link-state Advertisement (リンクステート アドバタイズメント)。リンクの動作状態、リンク コスト、およびその他の OSPF ネイバー情報を共有するための OSPF メッセージ。
------------	---

M

MD5 認証ダイジェスト	認証キーおよび元のメッセージに基づいて計算される、暗号構築物。メッセージとともに宛先に送信されます。宛先は送信側の正統性を判別し、送信中にメッセージが改ざんされていない保証を得られます。
MTU	Maximum Transmission Unit (最大伝送ユニット)。ネットワーク リンクで分割しないで送信できる、最大パケット サイズ。

N

NDP	Neighbor Discovery Protocol (ネイバー探索プロトコル)。IPv6 アドレスに関連付けられた MAC アドレスを検索するために、IPv6 で使用されるプロトコル。
NSSA	Not-So-Stubby-Area。OSPF エリアにおいて、AS External LSA を制限します。

O

OSPF	Open Shortest Path First。IETF リンクステート プロトコル。OSPFv2 は IPv4 を、OSPFv3 は IPv6 をサポートします。
-------------	---

R

Reliable Transport Protocol すべてのネイバーに EIGRP パケットを保証付きで順序正しく配信する役目を担います。

RIB Routing Information Base (ルーティング情報ベース)。直接接続ルート、スタティック ルート、およびダイナミック ユニキャスト ルーティング プロトコルから学習したルートからなる、ルーティング テーブルを維持します。

Route Policy Manager ルート マップおよびポリシーベース ルーティングを制御するプロセス。

S

SPF アルゴリズム 最短パス優先アルゴリズム。ネットワーク経由で特定の宛先までの最短ルートを判別するために、OSPF で使用されるダイクストラ アルゴリズム。

SVI スイッチ仮想インターフェイス。

U

U6FIB ユニキャスト IPv6 転送情報ベース。

U6RIB ユニキャスト IPv6 ルーティング情報ベース。すべてのルーティング プロトコルから情報を集め、各モジュールの転送情報ベースをアップデートする、ユニキャスト ルーティング テーブル。

UFIB ユニキャスト IPv4 転送情報ベース。

URIB ユニキャスト IPv4 ルーティング情報ベース。すべてのルーティング プロトコルから情報を集め、各モジュールの転送情報ベースをアップデートする、ユニキャスト ルーティング テーブル。

V

VDC Virtual Device Context (仮想デバイス コンテキスト)。物理システムを安全で独立した論理システムに分割するために使用されます。

VRF Virtual Routing and Forwarding (仮想ルーティングおよびフォワーディング)。システム内部で別個の独立したレイヤ 3 エンティティを作成するための方法。

VRRP Virtual Router Redundancy Protocol (仮想ルータ冗長プロトコル)。

あ

- アトリビュート** BGP UPDATE メッセージで送信される、ルートのプロパティ。これらのアトリビュートには、アドレスされた宛先へのパスとともに、ベストパス選択プロセスを変更する、設定可能なオプションがあります。
- アドレス ファミリ** ルーティング プロトコルがサポートする特定のネットワーク アドレッシング タイプ。IPv4 ユニキャスト、IPv4 マルチキャストなど。

え

- エリア** OSPF ドメイン内の独立したサブドメインを形成する、ルータおよびリンクからなる論理区分。LSA フラディングはエリア内に封じ込められます。
- エリア境界ルータ** ある OSPF エリアを別の OSPF エリアに接続するルータ。

か

- 仮想化** 物理エンティティを複数の独立した論理エンティティとして動作させる 1 つの方法。
- 管理ディスタンス** ルーティング情報源の信頼性に関する格付け。通常、値が大きいほど、信頼性の格付けが下がります。

き

- キーチェーン管理** 認証キーを制御する方法の 1 つ。詳細については『Cisco NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。

く

- グレースフル リスタート** ルーティング プロトコルのリポート時に、ルータがデータ転送パスにとどまるようにする機能。

け

- ゲートウェイ** LAN からネットワークのその他の部分にレイヤ 3 トラフィックを転送するスイッチまたはルータ。

こ

- コンバージェンス** 「収束」を参照してください。

さ

再配布 あるルーティング プロトコルが別のルーティング プロトコルからルート情報を受け入れ、ローカル自律システムでそれをアドバタイズします。

し

収束 ネットワーク内のすべてのルータが同じルーティング情報を得るポイント。

自律システム 単一のテクニカル アドミニストレーション エンティティによって制御されるネットワーク。

自律システム境界ルータ OSPF 自律システムを外部の自律システムに接続するルータ。

信頼性 各ネットワーク リンクに頼れるかどうか (通常は、ビット誤り率で表します)。

す

スタティック ルート 手動で設定されたルート。

スタブ エリア AS External (type 5) LSA を認めない OSPF エリア。

スタブ ルータ メイン ネットワークへの直接接続がなく、既知のリモート ルータを使用してメイン ネットワークにルーティングされるルータ。

スプリット ホライズン ルータが自身のルート アップデートを見ないように、ルートの学習元になったインターフェイスには、学習したルートをアドバタイズしません。

た

帯域幅 リンクの使用可能なトラフィック容量。

代表ルータ 「DR」を参照してください。

ち

遅延 システムから宛先にインターネットワークを介してパケットを転送するために必要な時間。

つ

通信コスト リンクを介してルーティングする運用コストの算定基準。

 て

ディスタンス ベクトル	距離（宛先までのホップ数など）および方向（ネクストホップ ルータなど）によってルートを定義し、さらに直接接続されたネイバー ルータにブロードキャストします。
デッド間隔	その範囲内で OSPF ルータが OSPF ネイバーから hello パケットを受信しなければならない時間。デッド間隔は通常、hello 間隔の倍数です。hello パケットを受信しなかった場合、ネイバーの隣接関係は削除されます。
デフォルト ゲートウェイ	あらゆるルーティング不能パケットの送信先となるルータ。ラストリゾート ルータともいいます。

 ね

ネクスト ホップ	宛先アドレスまでの間で、パケットの次の送信先になるルータ。
ネットワーク レイヤ 到達可能性情報	BGP network layer reachability information (NRLI)。アドバタイズ側 BGP ピアから到達可能な、ネットワーク IP アドレスおよびネットワークに対応するネットワーク マスクのリストが含まれます。

 は

バックアップ代表ルータ	「BDR」を参照してください。
パス長	送信元から宛先までのルーティングにおいて、パケットが経験するすべてのリンク コストおよびホップ カウントの合計。

 ふ

フィージブル サクセス	現在のフィージブル ディスタンスより短い宛先までの距離をアドバタイズした、EIGRP のネイバー。
フィージブル ディスタンス	EIGRP で計算された、ネットワークの宛先までの最短距離。フィージブル ディスタンスは、ネイバーがアドバタイズした距離に、そのネイバーへのリンク コストを加えた合計です。
負荷	ルータなどのネットワーク リソースが使用中になっている程度。

 ほ

ホールド タイム	BGP において、UPDATE または KEEPALIVE メッセージの間隔として許容される最大時間限度。この時間を超えると、BGP ピア間の TCP 接続が終了します。 EIGRP では、EIGRP Hello メッセージの間隔として許容される最大時間。この時間を超えると、ネイバーが到達不能として宣言されます。
ホップ カウント	ルート上で経由できるルータの数。RIP で使用されます。

ポイズン リバースを指定したスプリットホライズン	ルータが自身のルート アップデートを見ないように、インターフェイスから学習したルートを到達不能として設定し、ルートの学習元になったインターフェイスには、学習したルートをアドバタイズしません。
ポリシーベース ルーティング	パケットに選択されたルートをルート マップを使用して変更する方式。

め

メッセージ ダイジェスト	共有パスワードを使用するメッセージに適用される、一方向ハッシュ。メッセージを認証し、メッセージが送信中に変更されていないことを保証するために、メッセージに付加されます。
メトリック	パス帯域幅など、宛先への最適パスを決定するためにルーティング アルゴリズムが使用する、標準の測定単位。

り

リンク コスト	OSPF インターフェイス上で設定された、最短パス優先計算に含まれる任意の値。
リンクステート	ネイバー ルータとのリンク、リンク コストに関する情報の共有。
リンクステート アドバタイズメント	「LSA」 を参照してください。
リンクステート データベース	受信したすべての LSA に関する OSPF データベース。OSPF ではこのデータベースを使用して、ネットワーク上の各宛先に最適なパスを計算します。
リンクステート リフレッシュ	すべての OSPF ルータが同じ情報を持っていることを保証するために、OSPF が LSA をネットワークにフラッディングする時間。
隣接関係	コンフィギュレーションに互換性があり、リンクステート データベースが同期している 2 つの OSPF ルータ。

る

ルータ ID	ルーティング プロトコルで使用される一意の識別情報。手動で設定しなかった場合は、ルーティング プロトコルがシステムに設定されている最大の IP アドレスを選択します。
ルーティング情報ベース	「RIB」 を参照してください。
ルート マップ	一致基準に基づいてルートまたはパケットをマッピングし、任意で設定基準に基づいてルートまたはパケットを変更するために使用される構築物。ルート再配布およびポリシー ベース ルーティングで使用されます。
ルート集約	ルート テーブル内の関連した一連の固有ルートを汎用性の高いルートに置き換えるプロセス。

ろ

ロード バランシング 所定の宛先に複数のパスを使用してネットワーク トラフィックを配信すること。

